

## 1. 当経営貢献診断の目的・ねらい (Why)

## 【背景】

- ソフトウェア保守業務は、ソフトウェア開発・維持業務の中で7—8割を占めているにも拘らず、本格的な改善がなされずに放置されてきた業務です。
- 新規開発がほとんどなされていない現状では、ソフトウェア保守業務こそが、対象ビジネスを強化する源泉です。
- この診断は、ソフトウェア保守業務が積極的に経営貢献できるための現状の力と強化対策を診断提言させていただくものです。

## 【目的】

- ソフトウェア保守業務が経営貢献できる遂行能力を把握しその改善対策を提言いたします。
- よりすぐれた保守サービスをシステム利用者に提供するための遂行能力を把握し、その改善対策を提言いたします。

情報グループを傘下にお持ちの部内マネジャが、グループ間の比較評価を行われるのに最適です。

## 【ねらい】

- 改善点を改善することによって、ソフトウェア保守業務の「早い、うまい、安い」を実現し、システム利用者・経営者・お客様にご満足いただけるようになっていただきます。

## 2. 当経営貢献診断の内容 (What)

- 以下の項目について「診断」いたします。

## 利用者の要求に確実に対応できる基礎能力

- 保守サービスの提供者は、利用者からの保守要求に対して、要求内容を的確にとらえ、迅速かつ低コストで実現する必要があります。
- その力を判定し補強点の対策を提言します。「経営貢献診断項目」をご参照ください。

## 経営貢献できる基礎能力

- ソフトウェア保守業務が経営から高く評価されるためには、利用者からの要求に確実に対応するだけでなく、対象部門の業務の成果向上やビジネス強化に対して積極的に貢献できる必要があります。
- その力を判定し補強点の対策を提言します。その内容は添付「経営貢献診断項目」をご参照ください。

## 3. 当経営貢献診断の対象範囲 (Where)

- 保守業務の対象の特定のシステム、または、一つ以上のシステムを担当しているグループごとに診断いたします。
- 同時に複数システムまたはグループの診断を実施することも可能です。



お問い合わせ先：システム企画研修株式会社  
 電話：03-5695-3130 FAX：03-5695-3131  
 mind-pc@newspt.co.jp http://www.newspt.co.jp

## 5. 当経営貢献診断の実施方法と必要期間 (How、When)

## 調査実施

- 調査票をお渡ししますので、ご記入の上ご提出いただきます。……………2週間

## 診断

- ご回答結果に基づき、以下の知見を踏まえ総合的に分析し、報告書を作成いたします。……1週間
  - 公表されている各種メトリックス
  - 既存の調査・診断結果
  - 過去の研究会の成果
  - 当社グループのコンサル経験

## 診断結果ご報告……………半日

- 優れている項目と不備な項目
- 不備な項目に関する強化対策
- 改善実施の優先順位付け
- 改善実施の基本プラン

## 6. 当経営貢献診断の責任者 (Who)

- システム企画研修(株) 代表取締役 上野則男
- (株)データ総研 専務取締役 堀越雅朗

## 7. 当経営貢献診断のご利用料金 (How Much)

- 1対象につき105万円
- 後続のコンサルをご下命の場合は、当該コンサル料金から、この診断料金を控除させていただきます。

## 保守業務の経営貢献診断項目

|                 | 項目                    | 項目数 |
|-----------------|-----------------------|-----|
| 基礎条件の評価         | A. 経営の状況              | 12  |
|                 | B. トップの方針・姿勢          | 2   |
|                 | C. 開発・保守業務基盤          | 8   |
|                 | D. 仕様検討担当の人材育成の仕組み    | 3   |
|                 | E. 対象システムの状況          | 10  |
|                 | F. 必要情報・ドキュメントの状況     | 6   |
|                 | G. パートナ依存体制           | 3   |
|                 | H. 開発管理体制             | 5   |
|                 | I. 仕様検討体制             | 4   |
|                 | J. 仕様検討担当             | 4   |
|                 | K. 仕様検討方式             | 8   |
|                 | L. 保守作業担当の人材育成の仕組み    | 3   |
|                 | M. 保守作業をフォローする専任組織の状況 | 2   |
|                 | N. 保守作業体制             | 4   |
|                 | O. 保守作業担当             | 7   |
|                 | P. 保守作業方式             | 5   |
|                 | Q. 保守作業におけるツールの利用状況   | 4   |
| 合計              | 90                    |     |
| 経営貢献できない<br>リスク | A. 財務の視点              | 2   |
|                 | B. 顧客の視点              | 2   |
|                 | C. ビジネスプロセスの視点        | 9   |
|                 | D. 育成と成長の視点           | 3   |
|                 | 合計                    | 16  |